

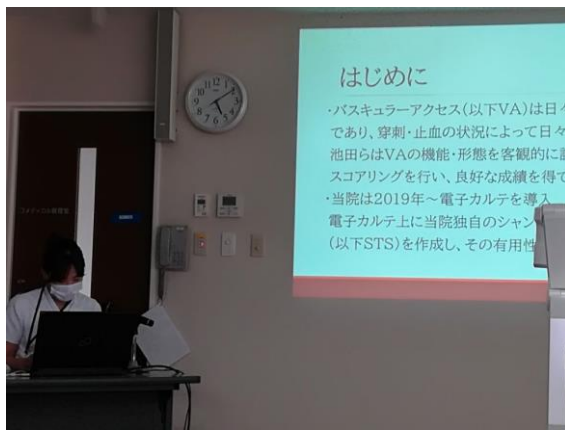
看護部生涯教育

日時：令和5年5月2日 16:40～17:20

場所：新王子病院 4F 会議室 A

内容：看護研究発表

- | | |
|---|-----------|
| 1. 当院透析室における看護師のストレス実態調査 | 看護師 松永(美) |
| 2. 病棟の転倒転落のインシデント・アクシデントレポート報告と転倒予防の統一 | 看護師 長田・上川 |
| 3. シェントトラブル（緊急PTA）の減少を目指して～STSシート作成と使用～ | 看護師 橋本 |



3 例とも日々の業務から着眼点を得た看護研究でした。

- 1 例目は、透析室に勤める看護師を対象としたアンケートを実施しストレスを点数化した研究で、「業務量が多い」「新型コロナウイルスの患者の対応への不安」「気難しい患者・家族との関わり」でストレスの点数が高く、プライベートでも「新型コロナウイルスに対する葛藤」が高く、特に 30 歳代では子育ての負担も大きいためか 4 つのカテゴリ全てでストレスの点数が高い結果でした。
- 2 例目の転倒転落予防では、転倒転落アセスメントシートの点数から 1 年間ベッド柵や離床センサーの使用を統一し転倒転落の削減に取り組んだという研究でした。結果的には、転倒転落を減らすことはできなかったものの今後も転倒転落を予防できるよう推進していきたいとのことでした。
- 3 例目は、電子カルテ上にシェントトラブルスコアリングシート(STS シート)を作成して実際に 3 ヶ月間使用し、緊急 PTA の頻度の比較、スタッフの意識調査の研究でした。評価期間が短かったせいか緊急 PTA 数は変化がないものの、使用後のアンケートでシェント管理・観察への意識付けになったとのことでした。

今やっていることが良いのかなと考えて、切磋琢磨し前に進んでいきましょうとの総評でした。